

**地域の経済動向(令和6年1-3月期)**  
**《十勝地域》**

1 経済動向に係る企業等の声(1~3月期)

**【製造業】**

- ・ 原料乳価や諸資材調達価格の高騰に伴い製品価格を値上げしたため、売上、利益共に前年同期比増となったが、販売数量は減少した。(畜産食料品製造業)
- ・ 取引先は、原材料の高騰分の価格転嫁を認めてくれるが、運送費の上昇分の価格転嫁は認めてくれない。(食料品製造業)
- ・ 農業用鉄工製品を製造しているが、最近では小麦貯蔵施設製造の引き合いが多く、売上は順調で、人手不足で仕事を断ることもある。(金属製品製造業)
- ・ 資材価格の高騰は一時期に比べれば落ち着いたが、高止まりしている状態。(金属製品製造業)

**【運輸業】**

- ・ 燃料高騰の影響で利益率が減少したことから、経営改善を図るために自家用給油所を設置する。(道路貨物運送業)
- ・ 毎年交換が必要となるタイヤが、昨年1年間だけで3度値上げが行われたため、経費を圧迫している。(道路貨物運送業)
- ・ 利益が減少しているが、2024年4月以降離職者を出さないように、前年よりも賃上げ率を上げる予定。将来の収益に不安はあるが、人手確保のためやむを得ない。(道路貨物運送業)
- ・ 人手が足りず断っている仕事もあり、売上増加を図るため、ハローワークや民間の就職サイトで募集しているがほぼ応募がない。(道路貨物運送業)

## 2 道内金融機関から見た地域景況感(1-3月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

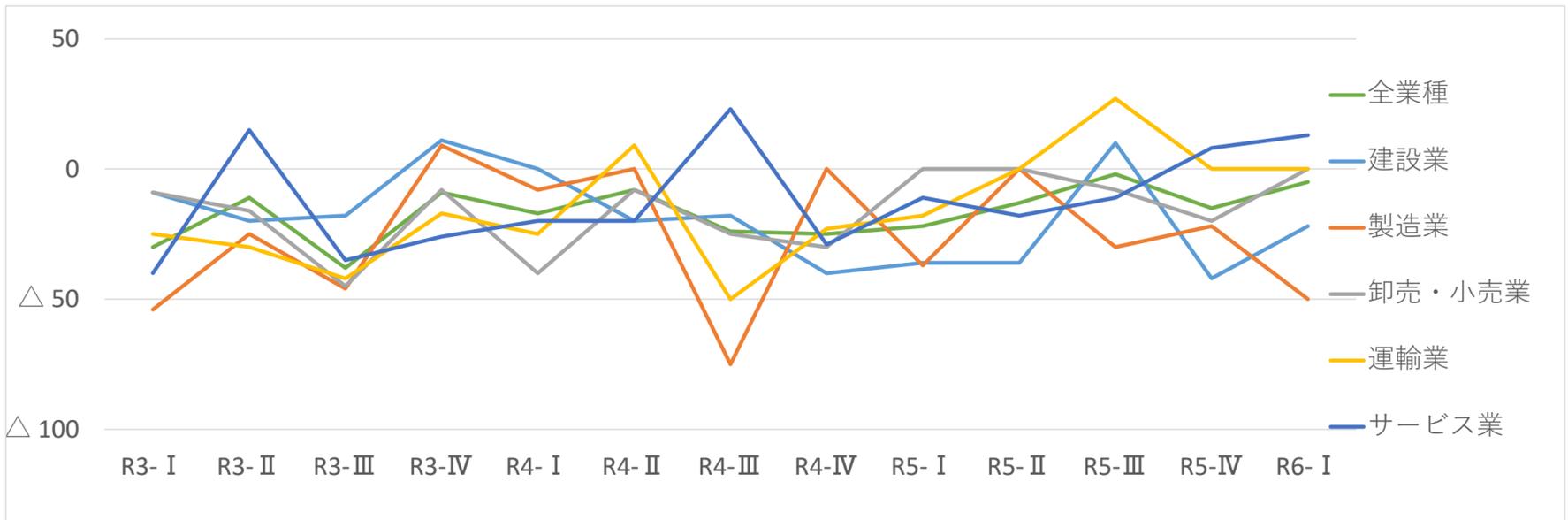
### 【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
帯広信用金庫				<p>当金庫が実施した今期の地域企業景況動向調査の結果、地域企業の今期の業況判断DIが、前期比改善したものの<math>\Delta 15</math>となったことから、「やや低調」と判断した。</p> <p>生産面は、製造業の業況判断DIが大きく改善して<math>\pm 0</math>となったことや、生乳生産量が持ち直してきたこと等から「普通」と判断した。</p> <p>消費面は、同調査において小売業の業況判断DIが前期比悪化し<math>\Delta 21</math>となったこと等から、「やや低調」と判断した。</p>		<p>当金庫が実施した今期の地域企業景況動向調査の結果、地域企業の次期の業況判断DI見通しが、<math>\Delta 14</math>と今期比ほぼ同水準であることから「変わらない」と判断した。</p>

### 【景況感の推移】

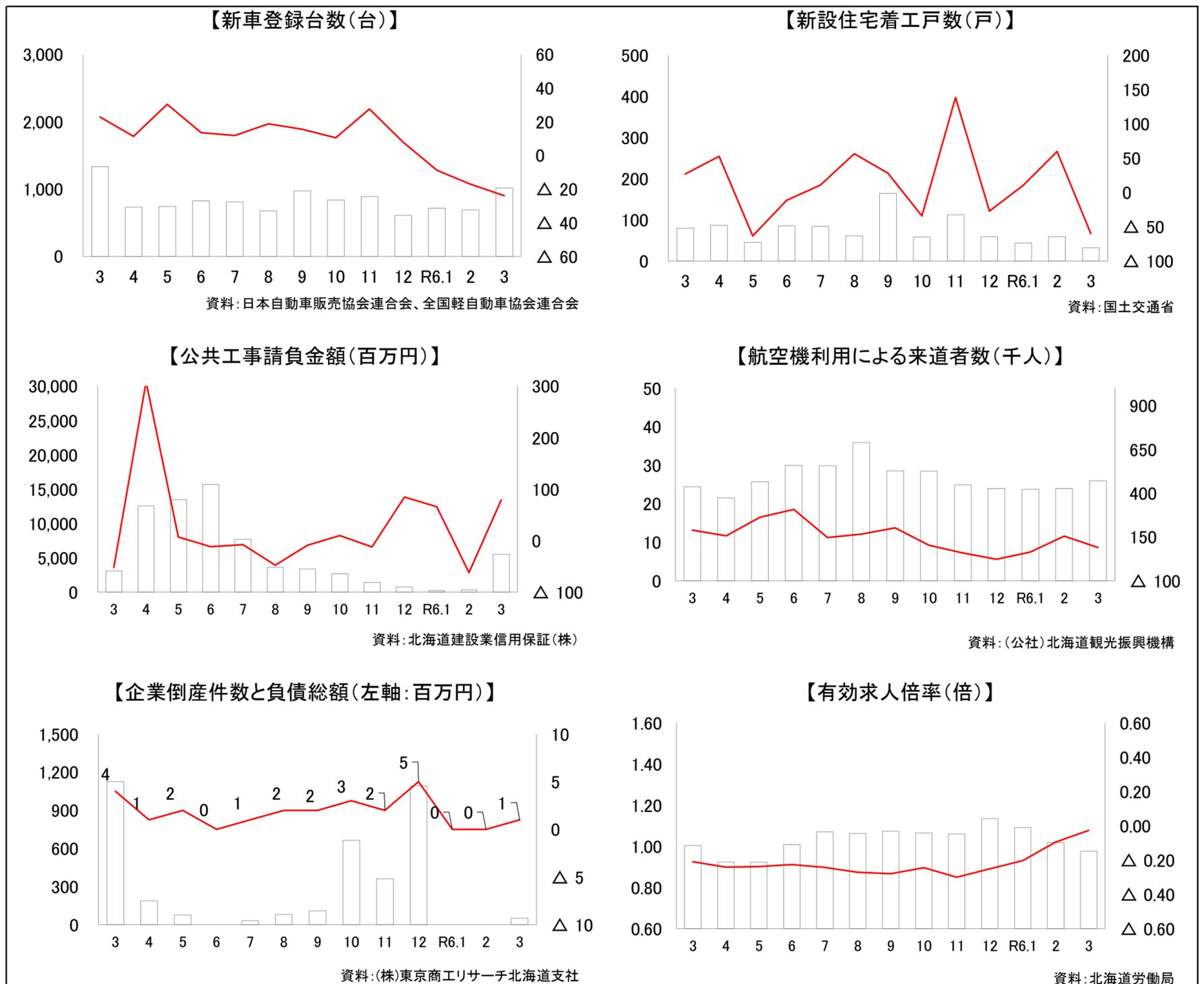
	R4- II	R4- III	R4- IV	R5- I	R5- II	R5- III	R5- IV	R6- I
帯広信用金庫								

### 3 業種別の業況感BSI(企業経営者意識調査)



	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III	R4-IV	R5-I	R5-II	R5-III	R5-IV	R6-I
全業種	△ 30	△ 11	△ 38	△ 9	△ 17	△ 8	△ 24	△ 25	△ 22	△ 13	△ 2	△ 15	△ 5
建設業	△ 9	△ 20	△ 18	11	0	△ 20	△ 18	△ 40	△ 36	△ 36	10	△ 42	△ 22
製造業	△ 54	△ 25	△ 46	9	△ 8	0	△ 75	0	△ 37	0	△ 30	△ 22	△ 50
卸売・小売業	△ 9	△ 16	△ 45	△ 8	△ 40	△ 8	△ 25	△ 30	0	0	△ 8	△ 20	0
運輸業	△ 25	△ 30	△ 42	△ 17	△ 25	9	△ 50	△ 23	△ 18	0	27	0	0
サービス業	△ 40	15	△ 35	△ 26	△ 20	△ 20	23	△ 29	△ 11	△ 18	△ 11	8	13

### 4 各種経済指標



(右軸: 来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差):%)